



おもちゃ箱つだぬま 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2026年3月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		マットなどで部屋を仕切っている	子どもの状態、活動によっては部屋が広すぎるときがある。引き続きマット等で仕切りながら工夫していきたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	曜日による子どもの配置を考慮している	曜日により配置人数が変化する時には、子どもの利用日変更を検討したり、活動内容を変更し安全に預かれるように体制を整えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	古い施設だが工夫して使用している	さらに分かりやすい配置など工夫したい。子どもの目線に立ち、掃除、構造化を工夫したい。(1日のスケジュール、カレンダー等)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を心掛けている。当日の子ども、活動に合わせて環境を設定している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	クールダウンできるようなマットで工夫している。	現状、事業所の間取りにより難しいが、子どもが過ごせるような物の配置の工夫をしたい
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	MTG月1回行い、共有している	引き続きMTGで共有をしていきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表に基づき、環境整備等行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月1回MTG、送迎時、モニタリング、LINEで共有している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者評価からの結果を明確化し、議題を整理した上で改善に努めていきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	年数回、講師をお呼びしたり、ZOOMで行っている	今以上に定期的に発達・支援についての研修を行ってきたい
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	作成されたものを会社・職員で共有している	引き続き支援プログラムの作成・公表体制を整えていき、職員への周知も図ってきたい。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援に迷った際は、支援計画の内容をMTGで振り返り、支援方法を見直している。	職員間に伝わるようにMTG等で共有を引き続き行いたい
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	送迎時、モニタリング、LINEで共有している	ツールの使用が弱いため目標となる物を活用していきたい

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		土曜活動、地域への買い物など 行い地域連携を行っている	家族支援として、座談会、研修等開催していきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		通常活動は主にリーダーが組み、イベントなどは皆で意見を出し合いながら行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		月毎にその日の活動内容を決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	基本的に集団だが、個別の支援、また希望があれば支援に反映し実施している	引き続き子どもの状況・発達に合わせた支援を行っていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝MTGで必ず確認時間をとっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	全員ではないが共有している。必要なことはLINE、朝、毎月のMTGで共有している	送迎上、必ず全員で打ち合わせを行うことは難しい。翌日の朝のMTGでは共有できているので引き続き行っていきたい。また、全体ミーティングの際に共有を図っていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録を取り、LINEで共有。朝のMTGで検証している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		子どもの状況に応じてモニタリングに相談員が同席することがある	引き続き、状況に応じて行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要な時に連携している	引き続き関係機関等との連携を都度図っていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		学校の担当者の見学を受け入れている	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	直接は難しい。保護者からお聞きしている。	市役所、相談員などと連携を図っている。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	子ども同士の交流はないが、園や地域との関わりは職員間では増えてきていると思う。	今後出来る範囲で実施し、具体的な内容を公表したい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族参加の企画を開催。座談会を一度実施した。	定期的に事前に日程を決めて行いたい(保護者目線に立った企画など)
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリング以外にも、都度LINE、送迎等で行っている	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	一度だけ希望者のみ実施	事前に日程を決めて年数回、活動参観、保護者会を行っていききたい
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		電話連絡・LINE等使い早めの対応を行っている	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		夏休みのイベント予定等は事前に告知している	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	招待はしていないが、ボランティアをお呼びしたり、地域へ買い物支援をしている	まずは地域への挨拶やお買い物で事業所の認知を高めてから運営を図っていききたい。
	非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	
43		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	月1回で計画に組み込んでいる	引き続き月に1回は行い、職員だけでも動きを定期的に確認していききたい。
44		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
45		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	おやつに記載、内容のダブルチェックをしている。保護者からの同意書も得ている。	引き続き医師の指示書に沿った対応体制を整えていききたい
46		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		安全管理体制を見直し、計画・研修・訓練を強化していく
47		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画の取組内容を保護者に周知し、連携を図っていききたい
48		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		必ずヒヤリハットのフィードバックを実施、改善している	
49		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社内研修を行っている	

	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3		現在、行う児童がいないが、認識の上で今後実施していきたい。
--	----	--	---	---	--	-------------------------------